

No.	問9 個別支援計画作成業務の委託料1件の単価(3,500円という金額)について、どのように感じていますか。 1. 非常に高い金額だと思う 2. やや高い金額だと思う 3. おおむね妥当な金額だと思う 4. やや安い金額だと思う 5. 非常に安い金額だと思う	
		その理由
1	3	認知調査費と比較
2		
3	3	
4	3	
5	4	
6	3	質問内容は同じであり、本人・家族と一緒に考えられるので
7	3	事務消耗品500円、聞き取り、作成に係る時間給で計算し妥当
8	3	
9	4	作成に3時間程度(訪問を含む)として人件費と考えると!
10	3	
11		実際にケアマネに入る金額が負担の割に少ない
12	3	
13	3	
14	3	
15	3	
16	3	
17	3	ただし、平常時の管理、モニタリングの対価の検討を要する
18	3	
19	3	
20	3	金額がケアマネに反映されていないので、あまり気にしていない
21	5	想定以上の労力を要するため
22	3	
23	3	比較対象がないのでよく分からない
24		
25	3	
26	4	作成にかかった時間と人件費を考慮するとやや安いと思う。 7000円
27		
28	4	継続していかなければならない為(一度作成して終了ではない為)
29	1	業務の質と考えている
30	3	
31	5	5000円

No.	問11 個別支援計画を実際に作成した担当者は、その業務を行うことについて、現時点でどのように感じていますか。 1. まったく負担に感じていない 2. それほど負担に感じていない 3. どちらともいえない 4. やや負担と感じている 5. 非常に負担と感じている	
		その理由
1	4	
2		
3	3	限られた時間ではなく空き時間利用のため、特に現時点では何も感じていません
4	4	書類作成に時間がかかるため
5	4	
6	4	通常業務で忙しい時もあるため
7	4	
8		
9	4	本来の業務に追われているため(書類整理、記録など)
10	3	
11	5	通常勤務でさえ、勤務時間内に終わらない為
12	5	訪問に行く時間がなかなかとれない
13	4	
14	3	
15	4	
16	3	
17	4	
18	4	普段からケアマネジャー業務が終わらず、困っているところに追加となるから
19	5	まだ、書類作成に慣れていない為。慣れてくればこなせると思う。
20	2	
21	5	本来の業務以外の説明、作業、調整の労力が多すぎる
22	4	作らなければならないと焦り
23	4	ケアマネジャーの実務で手一杯なため
24	4	
25	5	
26	4	これまでの業務に加えて、面接や計画作成の時間をあらたに
27		
28	4	時間の確保
29	3	
30	2	他の業務との兼務の為、時間の確保に難儀しましたが、この作業自体には、意義のあるものと考えていますし、負担感は覚えていません
31	5	計画をたてることで、責任も感じるし、自分が助けることもできない

No.	問13 貴事業所では、個別支援計画の作成の業務を次年度以降も受託する意向がありますか。 1. 受託する予定 2. 検討中 3. 受託しない予定	
		その理由
1	1	
2		
3	1	
4	1	
5	2	
6	1	
7	1	
8	1	
9	1	
10	1	災害時に役に立てる事を望み、必要だと感じている為
11	3	通常の業務でさえ、書類の作成業務や相談業務で時間がとられてしまい、勤務時間内に終わらない
12	1	
13	1	
14	1	
15	1	
16	1	
17	1	
18	2	
19	1	
20	1	
21	2	担当の課の方々が、ケアマネジャー業務、専門性を理解しておられないから
22	1	
23	1	
24	1	
25	1	
26	1	
27	2	
28	1	
29	1	
30	1	
31	1	

No.	問14 貴事業所では、ケアマネジャーや相談支援専門員が、サービスを提供している対象者(高齢者や障がい者又はその家族等)に対して、災害・防災に関する情報を提供することについて、どのように感じていますか。 1. 非常に大切なことであると思う 2. まあまあ大切なことであると思う 3. どちらともいえない 4. あまり大切なことであるとは思わない 5. まったく大切なことであるとは思わない	
	その理由	
1	1	
2		
3	1	高齢者、独居が多く、近親者との交流もない、老人、精神症状のある方々には、何らかの支援が必要と思います
4	3	相談支援専門員は防災に関するプロではないので、利用者に対して、適切な助言を出来ない。また、災害の種類によって臨機応変な対応が必要とされるが、様々なケースに対応出来る計画ではないように思う
5	2	
6	1	災害に対する危機意識を考えてもらえる
7	1	自身も含めて知らないことが多く、再確認する意味でも大切なことだと思う
8	1	
9	1	
10	1	
11	1	具体的に災害について話しをする機会や個別に避難について相談にのってもらえる仕組みなどが地域にない。家族の事情もケアマネは把握している
12	1	
13	1	
14	1	
15	1	
16	1	
17	2	大事な事だとは思いますが、日常的な業務として行うのであれば、その内容や対価をきちんと設定すべきだと思います
18	1	自宅に帰った時は、家族や近所の方が頼りになる。ショートステイの方は、責任もって計画作り、行動できたと思う。(高齢者のレベルによるので情報は必要)
19	1	心構えについて相談、取り決めをしておくことで、ご本人も、ご家族も、ケアマネジャーも安心できる
20	1	
21	1	いつ災害が起きても、おかしくないし、避難が大変な方々に対する仕事だから
22	1	
23	1	高齢化、家族構成が変化しているため
24	2	
25	1	
26	1	災害・防災について考える良い、きっかけになると思うので、非常に大切だと思う
27	1	災害が起きてからでは遅い。知り得た情報は、きちんと管理し、災害時に活用できれば良いと思う(第3者にもらさない)
28	1	お互いに意識づけができる
29	1	視覚障害の方を行い非常に必要だと思った
30	2	
31	1	生活に関わっているから

No.	問15 貴事業所では、ケアマネジャーや相談支援専門員が、サービスを提供している対象者(高齢者や障がい者又はその家族等)のために個別支援計画の作成を行うことについて、どのように感じていますか。 1. 非常に意義があると思う 2. 多少意義があると思う 3. どちらともいえない 4. 多少疑問に思う 5. 非常に疑問に思う	
		その理由
1	1	
2	4	完璧、その通りに出来るのか
3	1	訪問されていても近親者から、疎外感のある高齢者も多く見かけられることがあり、何かしらの支援、声掛けは必要と思っています
4	4	計画を作成することで利用者から市の職員と勘違いされることがある
5	2	
6	2	具体的に計画することで、災害時の行動が理解できる。あわてないで行動できる
7	3	意義あると思うが、ケアマネである必要があるのか疑問
8	1	
9	1	
10	1	
11	1	
12	2	
13	3	
14	1	命にかかわるから
15	2	考える機会としては意義があるが、実際それが活用されるとも思えない
16	2	災害は他人事でなくなってきているから
17	5	災害についてより専門的な知識を持ち、必要に応じて、安全な避難をするためのアドバイスができる人材の育成をすべきと考えます
18	3	細かすぎて時間がかかる、入所、退所があるのでグループホーム、特別養護老人ホームに移る方もおり、今後どうするか？作成してすぐ退所では困る点もある。ケアマネジャーの業務なのか？
19	1	このような機会が無いと分からなかった情報も得る事が出来た
20	1	
21	4	心身の状態は変化するため、いざという時、情報が役に立たないと思う
22	1	
23	2	対象者の状態像をよく把握しているため
24	4	
25	2	
26	1	有事の際、対応を日頃から、考えておく重要性を感じており、相談支援専門員としての視点が広がった
27	4	親族のいる方は、親族にも考えてもらえれば、より協力が増すのではないかと考えた
28	2	
29	1	避難場所が分からない人が多かった
30	2	
31	5	情報提供のみで、十分だと思う。利用者に対しても、市に対しても市が計画を立てる方がいいと思う

No.	問17 ② 貴事業所では、名簿未登録者(対象者一覧の同意欄に○印の無い人)に対して、今後(も)個別支援計画の作成を行う予定がありますか。 1. 作成する予定 2. 検討中 3. 作成する予定はない	
	②	その理由
1	2	通業業務が手いっぱいの為
2	2	人員不足
3	2	見守り訪問で何回か声掛けし、作成への必要性説明する
4	2	
5	1	
6	1	
7	1	
8	1	
9	1	
10	2	現状○印の方たちの作成が充分に行えていない為
11	3	
12	1	
13	1	
14	1	
15	3	登録者の作成もできていないので
16	2	
17		
18		
19	1	
20	1	
21	2	担当の課の方々が、ケアマネジャー業務、専門性を理解しておられないから
22	1	「同意しない」でも作成した
23	2	対象者の意思確認による
24	2	
25	1	
26	2	対象者に説明しているが、同意が得られない方、検討中の方もおり、作成できるかは未定
27		
28	2	
29	1	要望があれば
30	2	
31	2	

No.	問18 上記設問の他、個別支援計画の作成業務に関して、ご意見・ご感想があれば次の①～⑩までの項目について、それぞれお聞かせください。
	<b>①対象者(本人又はその家族等、以下同じ)宅へ訪問した際の対象者の反応について</b>
1	
2	
3	高齢者へ訪問にて説明するも、まだ若い。身体が動くので大丈夫だ。返答が多くありました
4	
5	
6	災害に対して普段から備えている方と、何も考えていない方の差があった
7	
8	
9	反応は良好です。助かる、安心との声が多い
10	災害時に対する不安は感じており、作成に協力的でした
11	近年災害が多く、避難について関心が高かった
12	
13	
14	災害に関して意識が高い
15	
16	災害時のことも意識しておくことが、いざという時、慌てないで行動できる
17	
18	同意欄に○をつけた事を覚えていない人も多い
19	災害に対する、あいまいだった意識(避難しなくても大丈夫だろう、足が悪いから家にいるしかない)に変化が見られた
20	この頃、災害が多く、身近になってきた事で、利用者の意識も変わってきているように感じられる
21	自互助のための計画なので、個人情報に関するものを提出したくない。意識は高く持っているので、改めて「市に頼らず・・・。」と言われると不快
22	心配だという方が多いので、反応は良いです
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	最初から個別支援計画作成の説明のため、訪問するのであれば反応は良いが、途中から様子を見てとなると時間もなくなり、また続きは今度と先延ばしてしまう

No.	
	<b>②対象者の個別支援計画の作成の趣旨又は重要事項説明書の理解度について</b>
1	
2	
3	市では何の支援ができませんの説明で、無理かと理解はされますが、日数がたつと忘れてしまうのではと思います
4	
5	
6	何度でも説明しなければ、理解されない方もいた
7	
8	
9	おおむね、理解していただけていると思う。重要事項説明書はわかりにくいと言われることあり、補足説明が必要
10	特に質問等なく、理解していただきました
11	個別支援計画の必要性も理解されている方が多かった
12	
13	
14	
15	計画作成を希望される方は、理解されていると思う
16	
17	
18	家族も高齢者だと理解が難しい
19	おおむね、理解できた
20	その場では、分かったと言っているが、とりあえず、文章を読み上げた後、分かりやすく、簡単に説明できるよう工夫はしている
21	問題ないし、本人の理解力に支障があるケースは、キーパーソンの理解を得ている
22	概ね、理解はして頂いてます
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	自立の人の対応が多いので、理解度はいいです



No.	
	<b>③地域支援者の有無、なり手が見つからない、という課題について</b>
1	
2	
3	非常時は声掛けは必要と思いますが、書面に残すと責任感があり同意することができないとのこと
4	
5	
6	地域の集まりの機会が少なくなっていることもあり、横の繋がりが希薄となっている
7	
8	
9	以前からのつきあいによるが、いない方は見つけるのは、難しい。自治会によっては、周囲もみな、高齢で頼めないという方、多し
10	非常に難しい課題だと思います。民生委員の方、地域住人の方たちに災害時の対応に対する取り組みが明確になっていない為。個人的に支援を頼む事がしづらいとの意見がありました
11	近隣との関係が良い方は、地域の協力が普段からあり、いざと言う時も頼める関係だが、そうではない方は、家族がいても、ケアマネに求めてくる。家族にも近所にも頼めないという
12	
13	
14	
15	近隣とのつながりがあまりない人は、支援者の協力を得ることが難しい
16	災害時は、皆、自分のことで精一杯という現実があり、なかなか、支援は難しいと思う
17	具体的に何をどのように手伝ったら良いのか、分からない為、協力可能か、判断ができないのではないかと。また、協力した場合の責任の度合いも消極的になる要素の様に思います
18	自治会単位で説明等行い、支援が必要な人を知る事も必要だと思う。近くても、付き合いがないと支援が必要な人がいることも分からない
19	ご本人や家族、自らが積極的にご近所の方などと、交流して、助け合いをする。努力も必要。
20	可能な限り、地域支援者について、利用者さんと話し合い、見つけられるようにしてきたが、利用者さんから、その方に、声をかけて話をしておいてもらう方が、うまくいった。どうしてもいない場合は、やはり、ケアマネが動くことになるだろう
21	安易に「ケアマネさんが対応できませんか？」という発想を持たないでほしい。市も共に考える姿勢はほしい
22	実際、書面で近所の方を記入すると遠慮してしまい、民生委員等に依頼することもある。全員は無理なので、日頃から地域住民の意識づけが必要だと思った
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	仕方がないと思う。特に災害時などの非常時は。台風とか予測可能な場合は、自主避難してもらう

No.	
	<b>④医療ケアや重度の障がい者・要介護者のいる世帯の課題について</b>
1	
2	
3	
4	
5	
6	始めから、福祉避難所への避難を考えていただきたい
7	人手がとにかく必要なので、必要な時に必要な人を確保することができるのか、難しいと思った
8	
9	医療ケア等ある方は、指定避難所は難しい。医療機関の協力があると良いと思う
10	自立で移動ができない方々が大半であり、独居の方も多く、身の安全を確保し、救助を待つて行動しかとれない人たちへの不安の軽減をどのようにできるのか？
11	避難する事自体も大変だが、避難先でも、ベッドの確保、排せつ介助等、心配の声があった。その為、自宅にいると答える方もいた
12	
13	
14	青嵐荘や施設を開放するとよい
15	福祉避難場所等が確定しているとよい
16	その家庭、家族の考え方に、左右されてしまう
17	マンパワーを確保できる、早い段階での避難が必要と思いますが、そのための仕組み、場所、人材の確保ができない。また、避難所に医療、介護の専門職の配置が必要になると思いますが、それは、市の保健師さんの配置する考え方で、良いのでしょうか
18	移動手段に悩む方が多い。警戒レベル3が出たら、避難用にバスを出す等、移動手段の選択肢がほしい
19	専門職をまじえ、担当者会議などで話し合いをすることも必要
20	冠水時は、早めの避難(ショートステイ利用など)ができるが、地震の時は心配される。一応、決めごとはしてあるが、不安である
21	
22	非常に困難であり、プライバシーや服薬等、様々な課題があると思い、避難することだけが最適ではないこともあると思います
23	
24	
25	避難先でどの程度の対応があるのか、不明なので自宅待機すること
26	家族内に複数名、障がい者、要介護者がいる場合、両者を考慮して、計画を考えなければならない。ただ、相談支援専門員、ケアマネジャーの担当が別々なこともあり、ケースによっては、連携も必要なのではないかと思う
27	
28	
29	
30	
31	動く事によって、命にかかわるような場合は別として、可能な限り自主避難してもらおう(手遅れになって命を落とすことにならないよう)
31	16

No.	
	<b>⑤対象者の理解を高めるために貴事業所で独自に工夫した取り組みについて</b>
1	
2	
3	ハザードマップを掲示し、面会者より声掛けがあった場合説明しています
4	
5	
6	
7	
8	
9	資料をすべて、ファイルに入れ、いつでも見られるようにした
10	身の安全の確保について、各自宅内で、どのように行うのか、自宅の環境、ADLを検討し、具体的に話し合いを行っている
11	
12	
13	
14	
15	台風19号の後、それぞれの避難行動を確認した
16	
17	
18	工夫ではないが、事業所で実際の災害時に、避難したことがあった為、理解を得やすかった
19	独自ではありませんが、ホームページから、ダウンロードした情報をプリントして渡し、説明しました
20	
21	市民は意識や理解は高いです。市がそれを理解してほしい
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	特にありません

No.	
	<b>⑥対象者が、個別支援計画の作成を希望しなかった主な理由について</b>
1	
2	
3	民生委員がおしゃべりで、情報が町内に知られるのがいやだ。個人情報、特に電話番号(不審者から電話被害あり)知られるのがいやだの声がありました
4	
5	
6	希望しない対象者がいないので
7	早く死んじやいたいので助けてもらわなくていい。(2件) 近所の人達の間で、避難の際の声掛けやネットワークが構築されている
8	
9	現在のところいない
10	個別支援計画の理解をされていなかった方が多かった
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	計画書を作成する意義を感じられなかった
18	「うちは安全」最終的には、自宅2階へ避難等で作成した
19	
20	施設入所になった。状況が良くなり、自分の足で歩いて避難できるようになって、希望しなかったケース(要介護3→要支援1)
21	何も助けてくれないのに、情報を出したくない
22	
23	
24	
25	
26	自治会に入っていないため
27	
28	
29	
30	
31	いままで希望しない人がいなかったなので、わかりません

No.	
	<b>⑦作成した個別支援計画の見直しの時期・頻度・間隔等について</b>
1	
2	
3	高齢者は見直しについては、元気と思い訪問しても、入院、施設入所、不明な場合があり、2～3年で良いのではないのでしょうか
4	
5	
6	介護保険の認定期間と同じ期間の見直しとしては
7	妥当だと思う
8	
9	家族の状況など、変更があった時(介護度の変更時含む)
10	家庭環境、ADL、疾患等に変わりがあった際
11	
12	
13	
14	
15	本来は、随時行うべきだともうが、それに対する対価がないし、時間の確保も難しい
16	
17	
18	
19	ご家族やご本人の状況に大きな変化があった時、(主介護者が介護にかかれなくなった、ご本人の介護状態がおおまかに変化したなど)
20	3ヶ月～半年を目安に確認している(一通り)
21	
22	
23	
24	
25	
26	ハザードマップが改定された時には、避難場所や避難経路の見直しが必要と思う。対象者の状況(本人の状態や家族の状況)が変化した場合は、見直しが必要。定期的な見直しは必要だと思うが、業務量が増えるので、どのくらいできるかは??
27	
28	
29	
30	
31	随時、何か変化があった時

No.	
	⑧個別支援計画の作成の一連の作業又は委託業務の中で、今後、改善すると良いと思うことについて
1	
2	
3	
4	
5	
6	開始したばかりでわからない
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	避難所を車いすでも利用しやすくしてほしい。台風19号の際、避難したが、中に入れなかった事例があった
19	今の所、特にありません
20	
21	市の担当者がケアマネジャーの意見、情報を聞く場があると良い
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	情報提供のみで、十分だと思う。利用者に対しても、市に対しても市が計画を立てる方がいいと思う
31	5

No.	
	⑨貴事業所が、個別支援計画の作成業務を受託したことで、新たに発見したこと、また、変わったことについて
1	
2	
3	施設内でも数ヶ月に1回、災害について話し合う時間を設け、防災マニュアルの見直ししました
4	
5	
6	本人・家族と考えることで、信頼できる関係が増えた
7	
8	
9	担当、ご利用者の緊急対応や避難所の確保。ハザードマップの確認ができて良かった
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	事前に予測できる災害については、予防的な対応がとれる
17	災害支援の重要性を再認識できた。また、要援護の支援をする事に対する責任の重さも実感した
18	
19	災害に備えて計画を作る大切さを理解し、ケアマネ自身も安心できるようになった
20	災害に対する意識が高まった。利用者さん側も、改めて、避難場所が確認できて良かったと思う
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	利用者、近所の人との関係を知ることができた
31	8

No.	
	<b>⑩担当課が実施する、災害・防災に関する研修会の内容等について</b>
1	
2	
3	マニュアルが配布されて大変良かったと思います。研修会でもわかりやすい説明で理解できました
4	
5	
6	わかりやすい
7	
8	
9	
10	支援計画を作成する事で、災害時の対応の認識を深められたと思うが、実際、災害時にどのように活用し、救護支援が行われるのか、具体的に理解できる内容を希望する
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	小学校または、中学校程度の細分化した地区程度の広さごとにそれぞれの特性や課題に対する手段等、より具体的で、実効性のある方法論の検討。または、今後改善の必要とされる事柄について具体的に意見を出し合い、有事にスムーズで安全に避難し、安全な避難生活が送れるあしがかりの場として、生かしてほしい。その意味では、消防防災課との情報共有や制度の仕組みについての学ぶも必要と思います
18	
19	研修会があれば、参加していきたい
20	その都度、新しい情報など教えていただきたいです
21	参加者の専門性を理解したうえで、内容を考えてほしい
22	個別支援計画を作成している。といったことを理解したうえで、講師の方の説明も聞きたい
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	指定避難所の様子とか、具体的なこと



No.	
	<b>⑪その他、個別支援計画作成業務の委託に関する全般について</b>
1	
2	
3	
4	
5	
6	一年前に委託業務を受けましたが、通常業務もあり、とりかかるとなると日数がかかってしまいました。昨年末から開始し、無理のないように行っています
7	ケアマネジャーが委託されて実施するより、地域の民生委員や自治会、近所の方が詳細情報を持っていたり、作成することで、顔が見える関係性の構築になるのではないかと思います
8	今年度は作成することができず、申し訳ありませんでした。来年度は協力させていただきたいと思っております
9	
10	
11	実際にケアマネジャーがもらえる金額は、委託料の8割ではない。家族が就労している場合、通常の訪問も週末や夕方遅くを希望される事が多い。災害時に支援してほしいと言われるが、実際は、地域の方でないと難しい為、自治会等が計画を作成しても良いのではないかと
12	
13	
14	
15	
16	
17	より現実的で、実施可能で有効的な支援計画を作成するためには、受け皿の選択肢や現状等の情報がなければ、机上の空論になってしまいます。地図上で示すだけでなく、それぞれの施設の受け入れ状況や避難時に持ち込む必要のある品物、支援員(市役所職員の配置や働き)の状況など具体的に「見える化」が必要だと思えます。行政として、何をどのような形で支援するのが、我々計画作成者にわかる様にさせていただく事で相互に協力しあってより、良い物を作り上げていくという思いや関係づくりができるように思います
18	
19	特にありません
20	特に問題には感じていません。今後も、連携していければ良いと思う
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	